

# 令和4年度ポリファーマシー対策研修会開催要領

## 1 目的

近年、高齢者の増加に伴い、高齢者に対する薬物療法の需要はますます高まっている。一方で、重複・多剤服用等による健康被害が増加するとされており、安全性の確保等から服薬の適正化が求められている。また、ポリファーマシー<sup>(※)</sup>の課題解決のためには、地域包括ケアシステムを担う医療・介護関係者、医療保険者間での連携体制づくりが求められている。

今年度、各関係機関において、ポリファーマシー対策に取り組んでいるところであり、取り組み内容や見えてきた現状・課題等を共有するとともに、今後の県全体のポリファーマシー対策の充実に繋げる。

(※) 多剤服用の中でも害をなすもの。単に服薬する薬剤が多いのみならず、それに関連して薬害有害事象のリスク増加、服薬過誤、服薬アドヒアランス低下等の問題につながる状態をいう。

## 2 実施主体

富山県

## 3 共催

富山県後期高齢者医療広域連合、全国健康保険協会富山支部、公益社団法人富山県薬剤師会

## 4 後援

富山県保険者協議会

## 5 対象

市町村国保・後期・衛生・介護部門の専門職・事務職等、県内医療保険者、薬剤師、介護関係者（介護支援専門員・地域包括支援センター職員）、訪問看護師等

## 6 日時・場所

(1) 日時 令和5年2月9日（木） 14時～16時

(2) 開催形式 オンライン（Zoom）形式

## 7 内容

(1) 報告「富山県における取り組み」

(14:05～14:15) 報告者：富山県厚生企画課

(2) 報告「富山県後期高齢者医療広域連合における取り組み」

(14:15～14:30) 報告者：富山県後期高齢者医療広域連合

(3) 報告「地域におけるポリファーマシー対策の取り組み」

(14:30～15:30) 報告者：魚津市薬剤師会 畠山会長

(4) 質疑応答及び意見交換

(15:30～15:50)

(5) 総評

(15:50～16:00) 富山県医師会 南里常任理事